

1. 科目名（単位 数）	介護概論（2 単位）	3. 科目番号	SSMP2109 SSMP2309 SBMP2309 PSMP2409
2. 授業担当教員	櫻井 恵美		
4. 授業形態	講義及び演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	本講座は、高齢者福祉論との関連において、介護が必要な高齢者に対する支援を中心に進めていく。 高齢者の特性と生活について理解を深め、生活支援の在り方を考え、介護の実践では、自立への支援、尊厳ある介護の理解を学習し、介護実践の基本を理解できるように授業を進めていく。特に根拠を持った介護実践が行えるように、介護過程と介護実技を学習して理解を深めていく。また、今後増加する認知症高齢者や精神的支援が必要な高齢者の介護についても授業を行なう。		
8. 学習目標	介護概論が終了した時点で、下記について目標達成することが期待される。 1. 高齢者の特性からくる生活障害や、介護が必要となる状況を理解でき、快適な生活環境を考えることができる。 2. 高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉・介護需要について理解し、介護の今日的課題について考えることができる。 3. 高齢者を支援する専門職の役割の理解と専門職間の連携の在り方を考えることができる。 4. 介護の概念、理念と対象について理解でき、社会福祉士など専門職としての役割と結び付けることができる。 5. 介護は介護過程に基づいて行われることを理解し、専門性について考えることができる。 6. 認知症及び精神的支援が必要な高齢者に対する介護について理解ができ、その応用力を身につけることができる。 7. 終末期の介護を理解し、終末期における尊厳の保持（人間観や倫理）について考えることができる		
9. アサシメント （宿題）及びレポ ート課題	①「利用者の尊厳を守り、自立を支援するために必要な知識・技術・倫理」のテーマで、第4回の授業内容を踏まえたうえで、自分の考えを記述する。（A4 レポート用紙1枚程度） ②授業を通して、「社会福祉士等の専門職が介護を理解する意義」について、自分の考えを記述する。（A4 レポート用紙1枚程度）		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編 『最新・社会福祉士養成講座 2 高齢者福祉』 中央法規出版 2021 その他、授業中にプリントを配布する。参考書については、適宜紹介する。 【教材】 DVD、CD などの視聴覚教材を使用する。		
11. 成績評価の規準 と評価の方法	○成績評価の規準 1. 介護福祉士を取り巻く状況を理解でき、役割と機能を支えるしくみが理解できたか。 2. 尊厳を支える介護、自立に向けた介護が理解できたか。 3. 介護を必要とする人が理解できたか。 4. 介護サービスが理解でき、介護実践における連携やチームアプローチの心構えについて理解できたか。 5. 介護従事者の倫理の重要性や介護における安全の確保とリスクマネジメントが理解できたか。 ○評価の方法 [レポート 授業への積極的参加度を総合的に評価する] 1. 授業ノート提出・評価 40％ 2. レポート 40％ 3. 授業態度 20％		
12. 受講生への メッセージ	・講義・演習ともに積極的に取り組み、提出物は必ず期限内に提出して下さい。 ・不明な点は質問し、解決できるようにしてください。 ・授業内でのグループディスカッションでは、自分の意見をしっかりと述べ、他者の意見をしっかりと聴いてください。明らかにディスカッション等に参加していないと判断した場合には欠席とします。 ・第8回から12回までの日常生活における介護では、部分的に可能な範囲で介護技術を体験します。 ・授業中、他者に迷惑をかけるような行為は禁止します。注意しても改善が見られない場合は欠席とします。 ・やむを得ず遅刻・早退・欠席をする場合は、必ずその理由を申し出るとともに、授業内で配布されたプリントを取りに来て下さい。何もない場合は減点対象とします。		
13. オフィスアワー	第1回の講義で説明します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	受講ガイダンス 介護の概念・理念、介護の対象 介護の概念・理念と原則、介護の対象者について理解し、社会福祉士が介護を学ぶ必要性について考える。	事前学習	シラバスを読んでおく。
		事後学習	社会福祉士や精神保健福祉士など専門職の支援の理念について確認する。
第2回	高齢者を理解する① 加齢に伴う身体の変化 介護の対象者である高齢者の身体的特徴、高齢者に多い疾病について理解するとともに、加齢に伴う身体機能の	事前学習	高齢者の姿勢、動きの特徴を確認しておく。
		事後学習	加齢に伴う身体機能の変化が生活に及ぼす影響についてシートをまとめる。

	変化が生活に及ぼす影響について理解する。		
第3回	高齢者を理解する② 加齢に伴うこころの変化 介護の対象者である高齢者のこころの特徴、老いの受容について理解するとともに、加齢に伴うこころの変化が生活に与える影響について理解する。	事前学習	高齢者の性格傾向(パーソナリティ特性)について調べておく。
		事後学習	加齢に伴う暮らし方や社会生活、人間関係の変化についてシートをまとめる。
第4回	介護の基本原則; 高齢者介護と自立支援、尊厳を支える介護(グループディスカッション) 介護の原則である尊厳について考え、尊厳を支える介護・自立支援とはについて、具体的なイメージができる。	事前学習	自立、尊厳の定義について調べておく。
		事後学習	利用者の尊厳を守り、自立を支援するために必要な知識・技術・倫理それぞれについて、授業内容を振り返りまとめる。第5回の授業で提出。
第5回	高齢者を支える専門職の役割と連携① フォーマルサービス、インフォーマルサポート 介護保険制度における介護サービスの概要と専門職の役割を理解する。	事前学習	介護保険制度のサービスの種類と特徴について確認しておく。
		事後学習	高齢者支援における社会福祉士の役割を整理する。
第6回	高齢者を支える専門職の役割と連携② 事例検討 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための支援について考え、地域包括支援システムの概要について理解する。	事前学習	地域包括ケアシステムについて調べ、概要を確認しておく。
		事後学習	演習シートを整理する。
第7回	介護過程の基礎的理解 介護過程の意義と展開過程、ICFについて理解する。	事前学習	ICFの概要について調べておく。
		事後学習	アセスメントについて整理する。
第8回	日常生活における介護① 住環境整備、睡眠の介護 ① 高齢者が安全に安心して暮らせる生活環境の整備について、その方法や留意点を理解する。 ② 睡眠の介護の意義と介護上の留意点を整理する。	事前学習	高齢者の家庭内の事故について、統計を確認する。
		事後学習	生活支援のあり方、環境整備の重要性について整理する。
第9回	日常生活における介護② 移動(演習) 移動の介護の意義と介護上の留意点について、車いす介助の体験を通して学ぶ。	事前学習	車いすの種類、特徴について調べておく。
		事後学習	移動の介護の意義と介護上の留意点を整理する。
第10回	日常生活における介護③ 食事の介護、口腔ケア 高齢者の食事におけるリスクと食事介護の重要性について理解する。	事前学習	咀嚼と嚥下の身体のしくみについて調べておく。
		事後学習	食事介護の意義と介護上の留意点を整理する。
第11回	日常生活における介護④ 清潔、整容の介護 清潔・整容の介護の方法とその重要性について理解する。	事前学習	清潔の介護の内容を確認しておく。
		事後学習	清潔、整容の介護の意義と介護上の留意点を整理する。
第12回	日常生活における介護⑤ 排泄の介護 排泄介護の方法と留意点について理解するとともに、排泄介護を受ける高齢者の心理的負担について理解する。	事前学習	摂食から排泄までの身体のしくみについて調べておく。
		事後学習	排泄介護の意義と介護上の留意点を整理する。
第13回	認知症高齢者に対する介護の基本① 認知症について理解するとともに、認知症高齢者に対する支援のあり方や方法について理解する。	事前学習	認知症の原因疾患と主な症状について調べておく。
		事後学習	認知症の中核症状、BPSDについて整理する。
第14回	認知症高齢者に対する介護の基本② (グループディスカッション) 認知症高齢者を介護する家族が抱える種々の課題について理解し、支援のあり方、方法について理解する。	事前学習	第13回の授業を復習しておく。
		事後学習	認知症高齢者への対応および家族支援について整理する。
第15回	終末期の介護 終末期ケア、グリーフケア 終末期の介護の方法、終末期におけるさまざまな選択と意思決定を支援する専門職のあり方について理解する。	事前学習	死の受容過程について調べておく。
		事後学習	終末期ケアにおける高齢者や家族の支援について、社会福祉士の役割を整理する。
期末試験			